

日本林業技士会よりの ご挨拶



日本林業技士会会長 小林 洋司

「日本林業技士会山形県支部会」設立おめでとう！

この度、3月20日、山形県山形市産業創造支援センターにて設立総会が開催され、支部規約、役員、平成30年度予算が決定されました。会員皆さんに報告したいと思います。選出された丹 四郎支部長（国土防災技術）以下役員の活躍を期待したいと思います。

本部としても、第23番目の支部として設立されたこと、東北6県すべてに支部が設立されたこと等、極めて喜ばしいことと思います。今後の活躍を大いに期待したいと思います。

さて、林業を取り巻く状況を見ますと、多発する労働災害、低迷する材価と依然として厳しく、地域活性化の成長産業化ということもどうなるか、と思います。林野行政の動きは、路網と機械化、施業の集約化、技術者養成、森林法の改正、フォレスターの育成などありますが、林業関係者の奮起に期待しております。林業技士との関係からは、フォレスター制度、森林施業プランナー、森林作業道オペレーターの育成、フォレストマネジャーの登録などです。フォレスターの資格試験は、林業技士の場合には、一部試験免除となっております。

日本林業技士会の動き

平成 29 年度もこの 3 月で終了します。平成 30 年度の総会は、6 月 8 日(金)に予定しております。昨年 12 月には平成 29 年度第 2 回の理事会が行われ、前半の事業報告、会計報告がなされ、支部活動をどうすれば活発にできるかに行った議論がなされました。**結論として、来年から支部の研修、講演事業、現地研修について総会時の研修を除き 1 件について 2 万円の助成を行うことにしました。**ふるって応募ください。これまでも本部として支部大会にはできるだけ参加するようにし、交流情報交換をして参りました。本年も私は、四国支部、島根県支部、長野県支部、宮城県支部、岩手県支部大会に参加、挨拶、講演、研修参加と渾身に務めた次第です。技士会活動として支部活動は重要です。地方にいて技術の高揚、CPD 研修、技術研修として活用されております。

日本林業技士会の会員数は、現在約 3500 名となっております。高齢の退会者も多いのですが入会者は毎年約 200 名になります。入札制度における総合評価の資格の点あるいは CPD 登録といった面から評価されたものと考えております。日本林業技士会は、新しい林業技士会へと頑張っております。

たとえば必要な情報をできるだけ伝えること、林業技士の更新、CPD の登録の便宜を図り、支部活動に支援して参りました。具体的には、林業技士会ニュースの充実、会員増加対策、情報提供としてメール配信、ホームページを充実、森林・自然教育会 (JAFEE) と連携し、CPD の登録の便宜を図りました。森林技術協会、その他団体と連携し、情報の吸収と配信を行いました。今後も林野庁他の官庁との連絡を取り、陳情等、技士資格活用を計ります。

おわりに

今後も、会員のニーズに合わせてできるだけサービスを行うこと、例えば支部会活動をより活発に行えるようにしてまいりたいと思います。日本林業技士会の活性化については、私ども本部関係者の活動は当然のことながら、会員自身の活動と理事の皆さんの協力、特に各支部長さんの活躍にかかっているものと思います。

林業技士会員の皆さんには、今後とも林業技士会発展のため、どうぞよろしくお願いいたします。